

「売れる化支援事業」

(添付3) 応募書類チェックシート

(添付4) 応募書類（雛形）

(添付3) 応募書類チェックシート：「売れる化支援事業」

事業： 売れる化支援事業

ビジネスプラン名： 30字以内で解りやすく簡潔に、覚えられる内容で！

会社名： 有限会社 沖縄笑店販売

提出書類および部数

■①/応募書類チェックシート（本用紙）：1枚（片面印刷）

■原本（②③④/応募書類一式・添付資料一式・その他補足説明資料）：1部（片面印刷）

■副本（②④/応募書類一式・その他補足説明資料のコピー）：15部（両面印刷）

※書類は、部単位でダブルクリップで止め、ステープル（ホチキス）では止めないでください。副本には、書類左側に2穴パンチで綴じ穴を開けてください。

※応募書は、通し番号を中央下に表記し、全てA4サイズに統一してください。

① 応募書類チェックシート（本用紙） 1枚

② 応募書類〔提出部数：原本1部、副本15部（両面印刷）〕

企画提案書B

企業概要書（別紙1）

事業計画書（別紙2）

商品・サービス名

その他助成事業への応募状況

プロジェクト名

その他特記事項

商品・サービスの発売時の概要

実施体制

事業の可能性

プロジェクト全体のフローチャート図

商品・サービスの概要

事業スケジュール

その他支援状況について

収支計画書（別紙3）

助成事業対象経費（別紙4）

直近3ヵ年の決算書（損益計算書、貸借対照表、販売費及び一般管理費内訳書、製造原価報告書（製造業のみ）：個人事業主については確定申告書）

③ 添付資料〔提出部数：原本1部〕

会社の登記簿謄本 ※直近3ヵ月以内に取得したもの

（個人事業主については住民票）

直近の法人税、法人事業税、法人県民税、法人市町村民税の納税証明書

（個人事業主については申告所得税、個人事業税、個人住民税の納税証明書）

※納税証明書の取得機関は別紙参照

④ その他補足説明資料〔提出部数：原本1部、副本15部（写しで構いません）〕

会社案内、製品等のパンフレット

_____（他に添付する資料があれば記載）

提出者氏名： 仲間 雪恵

連絡先（携帯電話）： 090-0000-0000

※郵送の場合は手続き担当者

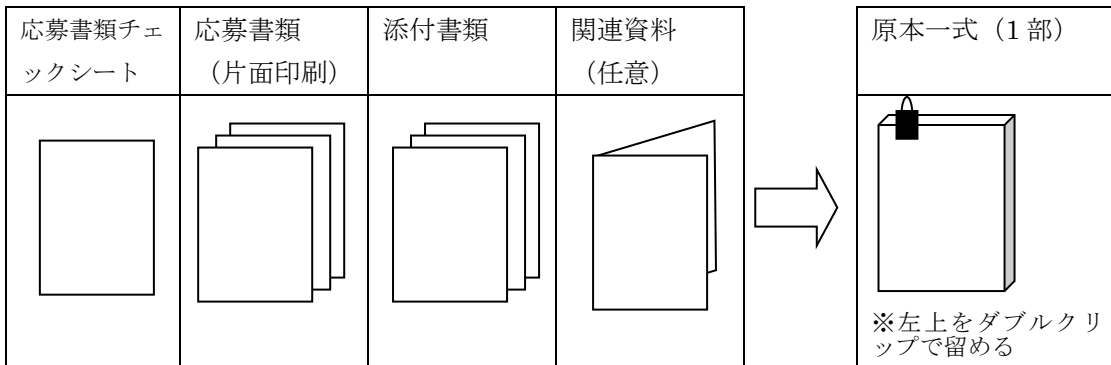
公社受領確認欄

提出書類一覧

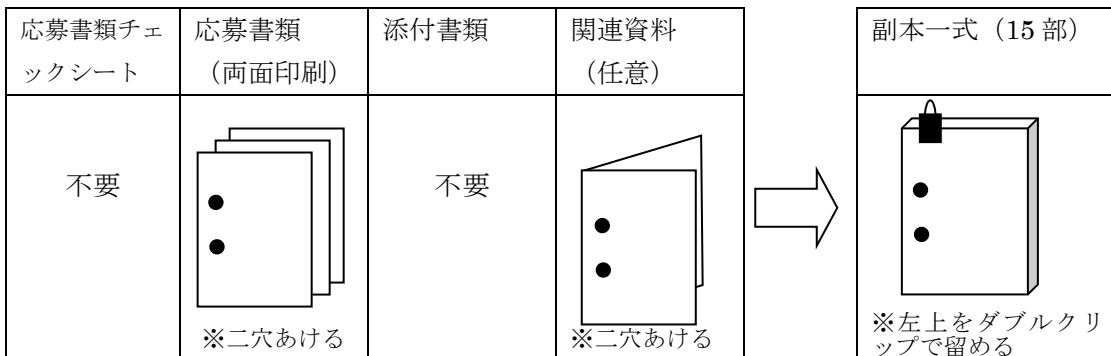
		原本（1部）	副本（15部）
応募書類チェックシート		○	×
応募書類	①企画提案書A もしくはB ②企業概要書（別紙1） ③事業計画書（別紙2） ④収支計画書（別紙3） ⑤助成事業対象経費（別紙4） ⑥直近3カ年の決算書	○	○
添付書類	①会社の登記簿謄本 ②直近の納税証明書	○	×
関連資料	①会社案内、パンフレット等	任意	任意

綴り方

原本



副本



※全て A4 サイズに統一

(添付4) 応募書類 (雛形) : 「売れる化支援事業」

平成〇〇年〇〇月〇〇日

公益財団法人沖縄県産業振興公社理事長 殿

【応募者】

〒901-0152

住 所 那覇市小禄1831番地1

会 社 名 有限会社沖縄笑店販売

代表者名 仲間 雪恵 印

電話番号 098-859-6237

↑応募者を記入

平成29年度 OKINAWA型産業応援ファンド事業<二次公募> 企画提案書B
(売れる化支援事業)

下記のとおり関係書類を添えて、平成29年度OKINAWA型産業応援ファンド事業企画提案書を提出
します。

記

(関係書類)

- 1 企業概要書
- 2 事業計画書
- 3 収支計画書
- 4 助成事業対象経費
- 5 直近3ヵ年の決算書 (損益計算書、貸借対照表、販売費及び一般管理費内訳書、
製造原価報告書 (製造業のみ))
(個人事業主については直近3ヵ年の確定申告書)

(添付書類)

- 6 会社の登記簿謄本 (個人事業主については住民票)
- 7 直近の事業に係る法人税、法人事業税、法人県民税、法人市町村民税の納税証明書
(個人事業主については申告所得税、個人事業税、個人住民税の納税証明書)
- 8 その他、補足説明資料

(別紙1)

企業概要書

(ふりがな) 企業名	ゆうげんがいしゃおきなわしょうてんはんばい				設 立 年 月 日	
	有限会社沖縄笑店販売				平成 2年11月15日	
住 所	〒901-0152 那覇市小禄 1831 番地 1 沖縄産業支援センター4階				電話	098-859-6237
					FAX	098-859-6233
資 本 金	1,000 万円	業 種	製造業	従業員数	8 名	
代 表 者	(ふりがな)	なかま ゆきえ	住 所	那覇市小禄 1831 番地 1		
	氏 名	仲間 雪恵	生年月日	昭和 51 年 5 月 26 日		
主 要 株 主	株 主 名		会社との関係		比率	
	仲間 雪恵		代表取締役		80%	
	島尻 剛		専務取締役		10%	
	国頭 三郎		代表者知人		10%	
主 要 取 引 先						
仕入先			比率	販売先		比率
株式会社〇〇商事			40%	〇〇ドラッグストアチェーン、□□ 薬局チェーン		50%
△△物産株式会社			30%	一般消費者		30%
その他			30%	その他		20%
事業内容	沖縄県産素材を活用した化粧品販売事業					
取得事業許認可・免許等	化粧品製造販売業許可書、化粧品製造販売届出書					
主要商品 (サービス)	〇〇石鹸、△△クリーム、□□オイル					
決 算 (直近3期分)	前々期 (H25年4月～H26年3月)		前期 (H26年4月～H27年3月)		直近 (H27年4月～H28年3月)	
	売上高	2,000万円	売上高	4,600万円	売上高	5,000万円
	営業利益	100万円	営業利益	150万円	営業利益	350万円
	経常利益	▲50万円	経常利益	30万円	経常利益	100万円
	従業員数	3名	従業員数	6名	従業員数	8名

事業計画書

商品・サービス名	「□□□□」浴用石鹸
プロジェクト名	セット販売による売上拡大を目的とした商品パッケージのリニューアル ↑30字以内で解りやすく簡潔に、覚えられる内容で！
商品・サービスの 発売時の概要 (各欄は項目ごと に適宜拡大してく ださい)	①商品・サービス開発（当初）の背景・経緯および目的 開発の背景・経緯は、近年、県内外の 20 代～40 代の女性の間で▽▽▽▽ ▽の需要が高まっている。その需要を取り込むために、・・・開発し販売 することとした。 開発の目的は、・・・。 <u>※当該商品のターゲットおよびニーズを明確に記入した上で具体的に記入 して下さい。</u> <u>※他項目と重複しても構いません。</u>
	②商品の特徴及び優位性・強み 商品の特徴は以下の通りである。当該商品の原材料となるノニ は・・・、・・・としてのブランド力が高い。 商品の優位性・強みの源泉は、・・・している点にある。具体的には、・・・ することで優位性を発揮できる。 <u>※特徴及び優位性・強みを分けて記入して下さい。</u>
	③販路構築および販路拡大の取り組み 当該商品の発売時の販路は、・・・である。一部、・・・を、今でも行 っている。 販路拡大の取り組みは以下の通りである。・・・にはこれまで積極的に 取り組んでいない。理由は、・・・からである。 <u>※発売時の販路およびその後の販路拡大の取り組みに分けて記入して下さ い。</u>

事業の可能性	<p>①現時点での進捗状況</p> <p>平成○年○月に当該商品「○○○○」を県内に向けて販売を開始。1年目の売上目標・・・万円（平成△年△月～平成☆年☆月）に対して、実績は・・・万円である。2年目（今年度）の売上目標・・・万円（平成△年△月～平成☆年☆月）に対して、実績は・・・万円である。3年目（今年度）の売上目標・・・万円（平成△年△月～平成☆年☆月）に対して、・・・現時点での実績が☆☆☆☆万円となっており3年目の目標達成も厳しい状況にある。</p> <p>初年度から3年目にかけて売上目標達成が厳しい状況にある原因・理由は以下の通りである。・・・</p> <p><u>※売上目標や売上実績に加えて売上目標に達していない原因・理由も記入してください。その原因・理由を説明できる資料（例：商品写真）があれば、添付書類「8 その他、補足説明資料」として、適切なタイトルを記入して提供して下さい。</u></p>
	<p>②今後の売上拡大に関する課題（現時点での課題または今後予想される課題）</p> <p>(1) 現時点での課題は、・・・の訴求力を高めることである。具体的には、・・・ことである。</p> <p>(2) 今後予想される課題は、・・・を消費者へ・・・することである。</p> <p><u>※上記①に記述している「原因・理由」を解消できる内容を課題として具体的に記入して下さい。</u></p> <p><u>※他項目と重複しても構いません。</u></p>
	<p>③課題（今後の売上拡大に関する課題）を解決する方策</p> <p>(1) 現時点での課題に対して</p> <p>方策は、(i) 実店舗（直営店舗、各薬局、各ドラッグストア）でのアンケート方式による顧客へのヒアリングを・・・行うことで、・・・を実施する、(ii) 上記の市場調査結果に基づき、・・・を行う。</p> <p>(2) 今後予想される課題に対して</p> <p>方策は、(i) 当該商品「○○○○」と既存商品「□□□□」の既存流通先へ・・・する、(ii) 販売促進の専門家に業務委託を行い、・・・の見直しを行う。</p> <p><u>※上記②に記述している課題に関して具体的な解決策となる内容を記入して下さい。</u></p>

① 3年後の目標（短中期計画）

・ 定量的な目標

（応募時実績） H28年度：28年4月～29年3月 ※見込みを含む

店舗販売事業(2店舗)： 売上点数 800個

通信販売事業(自社ネット)： 売上点数 200個

卸販売事業(2商社)： 売上点数 1,000個

（事業実施年度） H29年度：29年4月～30年3月

- ・ 当年度は、卸販売事業強化に努め商談会／展示会出展に力を入れることにより取引先商社数を4社に増やす予定である。また、手に取ってもらえるよう魅力ある商品パッケージに修正することで各事業での売上増加に繋げる。

店舗販売事業(2店舗)： 売上点数 1,000個

通信販売事業(自社ネット)： 売上点数 800個

卸販売事業(4商社)： 売上点数 1,500個

（事業終了後1年目） H30年度：30年4月～31年3月

- ・ 商品周知度が向上する効果により、総売上点数の増加を予測する。

店舗販売事業(2店舗)： 売上点数 1,200個

通信販売事業(自社ネット)： 売上点数 1,000個

卸販売事業(4商社)： 売上点数 1,800個

（事業終了後2年目） H31年度：31年4月～32年3月

- ・ 市場調査を実施し調査結果を反映させることにより、取引先商社数を増やすことに加えて、総売上点数の増加を予測する。

店舗販売事業(2店舗)： 売上点数 1,300個

通信販売事業(自社ネット)： 売上点数 1,100個

卸販売事業(6商社)： 売上点数 1,800個

（事業終了後3年目） H32年度：32年4月～33年3月分を計上

- ・ 商品周知度が再度向上する効果により、総売上点数の増加を予測する。

店舗販売事業(2店舗)： 売上点数 1,400個

通信販売事業(自社ネット)： 売上点数 1,400個

卸販売事業(4商社)： 売上点数 1,900個

・ 定性的な目標

(1) 商品開発力の向上

市場調査を行うにあたり、・・・により・・・を高める。

(2) 専門性の高い人材育成

商品ブランディングおよび販売促進の専門家に業務委託し・・・社内に蓄積しノウハウ継承を行う。

	<p>(3) 既存商品「□□□□」のブランド力向上 セット販売における既存商品「□□□□」の売上拡大も同時に見込まれることから、・・・。</p> <p><u>※当プロジェクトを実施していくにあたり、今後の3年間の目標を記入してください。定量的な目標（例：売上高、取引先数）に加えて定性的な目標（例：商品ブランド向上のための人材育成、販売ノウハウ・スキルの獲得）を記入してください。なお、上記の定量的な目標の記載形式はあくまでも一例です。事業特性や事業規模に応じて、記入して下さい。</u></p> <p><u>※他項目と重複しても構いません。</u></p>
	<p>⑤今後のビジネス展開の可能性（プロジェクトの効果の根拠）</p> <p>現在、当該商品「○○○○」は季節的な売上変動の少ない商品特性を持つことから、毎月の売上状況は・・・ 商品パッケージの見直しによる・・・することを予想する。価格の見直しは行わないため・・・。</p> <p><u>※上記「③課題（今後の売上拡大に関する課題）を解決する方策」で挙げた課題解決策を実施していくにあたり、本事業終了後、3年程度で応募時の商品・サービスの売上高の2倍以上となる実現性の根拠を記入して下さい。具体的には、「④3年後の目標（短中期計画）」で掲げた「定量的な目標」の根拠を記入して下さい。</u></p>
	<p>⑥本事業終了後の3年以内の商品・サービスの量販体制について</p> <p><u>※本事業終了後、3年程度で応募時の商品・サービスの売上高の2倍以上となることが見込まれる具体的な量販体制を記入して下さい。</u></p> <p><u>※他項目と重複しても構いません。</u></p>

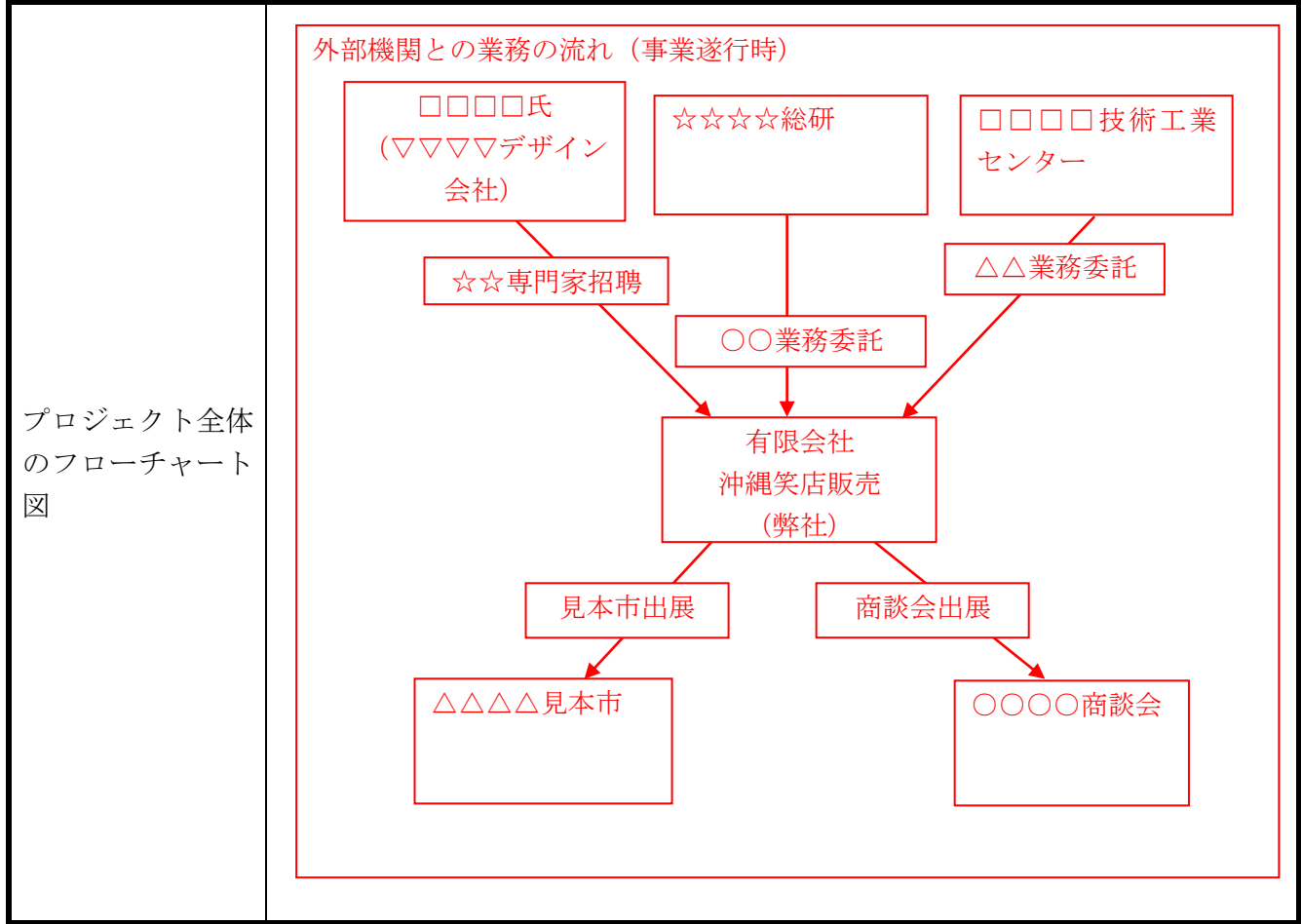
		<table border="1"> <tr><td></td><td>生産量</td></tr> <tr><td>生産能力</td><td>各月 500 個</td></tr> <tr><td>生産予定</td><td>各月 480 個</td></tr> </table> <p>(3 年目) 32 年 4 月～33 年 3 月</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>生産量</td></tr> <tr><td>生産能力</td><td>各月 700 個</td></tr> <tr><td>生産予定</td><td>各月 480～640 個</td></tr> </table> <p>※(対象がサービスの場合、「生産能力」としてサービス提供の人数を想定して下さい。)</p>		生産量	生産能力	各月 500 個	生産予定	各月 480 個		生産量	生産能力	各月 700 個	生産予定	各月 480～640 個
	生産量													
生産能力	各月 500 個													
生産予定	各月 480 個													
	生産量													
生産能力	各月 700 個													
生産予定	各月 480～640 個													
⑥価格	〇〇〇石鹸 1,000 円/個 (小売価格) 500円/個 (卸価格)	〇〇〇石鹸 1,000 円/個 (小売価格) 500円/個 (卸価格)												
⑦営業戦略	販売当初は、ブログやフェイスブック等を活用し……。また、……による販路を確保する手法を採用。	県内産業まつりや〇〇コスメ展へ出品することで……。また、既存の卸先の……。												
⑧営業体制	県内営業所 (卸向け) ・ 1店舗 (営業員1名) ネット販売 (一般消費者向け) ・ 自社HP	県内営業所 (卸向け) ・ 1店舗 (営業員1名) 県外営業所 (卸向け) ・ 1店舗 (営業員1名) ネット販売 (一般消費者向け) ・ 「〇天モール」												
⑨競合他社の状況及び自社差別化戦略	〇〇有限会社 (△△△を使用した□□□石鹸) □□□石鹸 @1,000円 (小売価格) 自社石鹸の原材料としてノニを用いているため〇〇を用いている他社石鹸と比べて、〇〇志向の高い県内外の20代～40代の女性への訴求度が高い。	〇〇有限会社 (△△△を使用した□□□石鹸) □□□石鹸 @1,000円 (小売価格) 原材料としてノニを用いていることに加えて、セット販売により購入利便性を訴求する。												

その他支援状況について	公的機関の支援を受けている、または受けたことがある はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
	支援機関：〇〇県産業支援公社 支援時期：平成19年度
	支援事業名：〇〇県ブランディング育成事業
	支援事業概要： 既存商品の認定を受け、新規ブランディングに係るパッケージ関係費およびその他販促品の経費について助成金を受けられる。 ※助成金交付額（約250万円）
その他助成事業への応募状況	現在、他の助成事業への応募を行っている：はい <input checked="" type="radio"/> 検討中
	支援機関：
	支援事業名：

その他特記事項	<u>本応募書類に記載箇所の無い、特に補足的に説明しておきたい内容や受賞等の実績、このプロジェクトに賭ける思いなどを記入下さい。</u>
---------	--

	役割	役職・所属	氏名	連絡先（携帯等）
実施体制	総括責任者	代表取締役	仲間 雪恵	090-0000-0000
	実務担当者	専務取締役	島尻 剛	090-1111-1111
	営業責任者	営業部部长	田中 一郎	090-2222-2222
	経理責任者	経理課	吉本 花子	098-859-6237

(注) 担当者、責任者が重複しても構いません。



事業スケジュール

※以下は一例です。実施項目および開始・終了期間は、当プロジェクトの内容に合わせて記載して下さい。

実施項目		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
目的	詳細								
①販路開拓	Web制作		→						
	商談会・見本市等への 出展				産業まつり →			〇〇コスメ展 →	
	販促物作成	→			→				
②ブラッシュアップ	リパッケージング	→							
	リブランディング (専門家招聘含む)	→							
③調査・分析	モニター調査	→							
	市場調査	→							
	販売					→			
	テスト販売			→					

※平成29年7月 ～ 平成30年2月のスケジュールを記載すること。

※29ページの「③課題（今後の売上拡大に関する課題）を解決する方策」に記載の方策の内容と、当スケジュールの「詳細」欄に記載の方策の内容に一致すること。

(別紙 3)

収支計画書

(単位：千円)

	計算式	実績	事業実施年度	事業終了1年目	事業終了2年目	事業終了3年目
		H28年度 H28/4-H29/3	H29年度 H29/4-H30/3	H30年度 H30/4-H31/3	H31年度 H31/4-H32/3	H32年度 H32/4-H33/3
売上高	A	1,320	1,980	3,630	3,960	4,950
売上原価(仕入れ高)	B	288	432	792	864	1,080
売上利益	C A-B	1,032	1,548	2,838	3,096	3,870
必要経費	人件費	D	-	1,200	1,200	1,200
	家賃	E	-	480	480	480
	委員会費/専門家招聘費	F	-	421	0	0
	調査費	G	-	900	0	0
	販路開拓費	H	-	1,079	360	360
	その他	I	-	100	0	0
	合計	J D+E+F+G+H+I	-	4,180	2,040	2,040
総利益	K C-J	-	▲2,632	798	1056	1,830

(注) 当該プロジェクトに係る売上高等を記載すること。

売上高等の算出根拠

<ul style="list-style-type: none">売上高： 30ページの「④3年後の目標（短中期計画）」を参照。売上原価 H28-H32年度：(1個当たり¥150) = ¥500 (売上単価(卸)) ×30%人件費：12ヶ月分 × 2人 <table border="1"><thead><tr><th>年</th><th>月単価(円)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>H29</td><td>50,000</td><td>現業と兼務</td></tr><tr><td>H30</td><td>50,000</td><td>現業と兼務</td></tr><tr><td>H31</td><td>50,000</td><td>現業と兼務</td></tr><tr><td>H32</td><td>50,000</td><td>現業と兼務</td></tr></tbody></table> <ul style="list-style-type: none">家賃 H29-H32年度：現営業所（県内：月0万円 - 自社社屋） + 新営業所（県外：月4万円）	年	月単価(円)	備考	H29	50,000	現業と兼務	H30	50,000	現業と兼務	H31	50,000	現業と兼務	H32	50,000	現業と兼務	<ul style="list-style-type: none">委員会費/専門家招聘費 H29年度：42万円 H30-H32年度：0万円調査費 H29年度：90万円 H30-H32年度：0万円販路開拓費 H29年度：107万円 H30-H32年度：月3万円（パンフ、POP等制作）その他 H29年度：10万円（商標登録） H30-H32年度：0万円 <p>※上記はあくまでも例示です。自社の状況で算出してください。</p>
年	月単価(円)	備考														
H29	50,000	現業と兼務														
H30	50,000	現業と兼務														
H31	50,000	現業と兼務														
H32	50,000	現業と兼務														

(別紙4)

助成事業対象経費

37 ページの収支計画書 合計 J
の金額となります。

(単位：円)

	金額	備考
当プロジェクトに係る総事業費	4,180,000	人件費、家賃等 対象外経費を含む
その内、助成金に係る事業経費	2,499,000	下表の合計額

1 助成金に係る事業経費の内訳

(単位：円)

取組事業内容	金額	積算詳細
① 委員会費又は専門家招聘費	420,000	
専門家招聘費 (謝金)	200,000	謝金 20,000円×5人×2回
専門家招聘費 (旅費)	110,000	県外旅費 110,000円×1人×1回
	90,000	県内旅費 30,300円×3人×1回
委員会費 (会議費)	20,000	会場借料 10,000円×2回
② 研究開発費又は商品開発費	0	
③ 調査費	900,000	
モニター調査	400,000	100,000円×2人×2回
市場調査	250,000	250,000円×1回
機能性表示の分析調査	250,000	△△技術工業センターへ委託 □□総研へ委託
⑤ 販路開拓費	1,079,000	
Web制作	300,000	△△制作会社
販促ツール制作費	200,000	パンフ、POP等制作
展示会出展費	500,000	コスメフェア出展 (旅費、出展費用、送料等)
サンプル制作費	79,000	サンプリング費用790円×100個
⑥ その他	100,000	
知的財産権登録費用	100,000	商標登録・実用新案・意匠登録等
合計	2,499,000	
助成金交付希望額	1,999,000	<u>1,000円未満は切捨て</u> 助成率 8/10 (上限額300万円)

(注1) 取組事業内容については、別紙2の「事業スケジュール」の実施項目と合わせることを。

事業経費の記載例は、公募要領を参考にして下さい。

(注2) 記入する金額は消費税抜きとして下さい。

2 業務を他に委託する内容がある場合、その内容を具体的に記入してください。

- パッケージデザイン □□□□氏（▽▽▽▽株式会社）を専門家として招聘
- 分析調査 □□□□技術工業センターへ機能性表示を目的とした分析調査を委託。
- 市場調査 ☆☆☆☆総研へ市場調査を委託。

※35ページの「プロジェクト全体のフローチャート図」に記載の専門家招聘や業務委託の内容を記載下さい。

3 事業実施に係る経費に関する資金計画

(単位：円)

調達区分	金額	調達先	備考
自己資金	999,000円		
借入金	1,500,000円	〇〇銀行 △△支店	
その他事業収入、雑収入			
合計	2,499,000円		

(注) 「1 助成金に係る事業経費の内訳」の合計と合致すること。